



保護対象サイトとリカバリサイトのリソースを設定

ONTAP tools for VMware vSphere 10

NetApp
February 11, 2026

目次

| | |
|---|---|
| 保護対象サイトとリカバリサイトのリソースを設定 | 1 |
| ONTAP toolsでネットワーク マッピングを設定する | 1 |
| ONTAP toolsでフォルダマッピングを設定する | 1 |
| ONTAP toolsでリソースマッピングを設定する | 2 |
| ONTAP toolsでプレースホルダデータストアを設定する | 3 |
| ONTAP toolsのアレイマネージャを使用してSRAを設定する | 3 |

保護対象サイトとリカバリサイトのリソースを設定

ONTAP toolsでネットワーク マッピングを設定する

保護対象サイトの各リソースがリカバリサイトの適切なリソースにマッピングされるように、両方のサイトでVMネットワーク、ESXiホスト、フォルダなどのリソースマッピングを設定する必要があります。

次のリソース設定を完了する必要があります。

- ネットワークマッピング
- フォルダマッピング
- リソースマッピング
- プレースホルダデータストア

作業を開始する前に

保護対象サイトとリカバリサイトを接続しておく必要があります。

手順

1. vCenter Serverにログインし、* Site Recovery > Sites *を選択します。
2. 保護対象サイトを選択し、*[管理]*を選択します。
3. [管理]タブで*>[新規]*を選択して、新しいネットワークマッピングを作成します。
4. Create Network Mappingウィザードで、次の手順を実行します。
 - a. [Automatically Prepare Mappings for Networks with Matching Names]*を選択し、[次へ]*を選択します。
 - b. 保護対象サイトとリカバリサイトに必要なデータセンターオブジェクトを選択し、*[マッピングの追加]*を選択します。
 - c. マッピングが作成されたら、*[次へ]*を選択します。
 - d. 前に使用したオブジェクトを選択してリバースマッピングを作成し、*[完了]*を選択します。

結果

[ネットワークマッピング] ページには、保護対象サイトのリソースとリカバリサイトのリソースが表示されます。環境内の他のネットワークについても、同じ手順を実行します。

ONTAP toolsでフォルダマッピングを設定する

保護対象サイトとリカバリサイトの間の通信を有効にするには、それらのサイトのフォルダをマッピングする必要があります。

作業を開始する前に

保護対象サイトとリカバリサイトを接続しておく必要があります。

手順

1. vCenter Serverにログインし、* Site Recovery > Sites *を選択します。
2. 保護対象サイトを選択し、*[管理]*を選択します。
3. [管理]タブで*>[フォルダ]*アイコンを選択して、新しいフォルダマッピングを作成します。
4. Create Folder Mapping ウィザードで、次の手順を実行します。
 - a. [Automatically Prepare Mappings for Folders with Matching Names]*を選択し、[*Next]*を選択します。
 - b. 保護対象サイトとリカバリサイトに必要なデータセンターオブジェクトを選択し、*[マッピングの追加]*を選択します。
 - c. マッピングが作成されたら、*[次へ]*を選択します。
 - d. 前に使用したオブジェクトを選択してリバースマッピングを作成し、*[完了]*を選択します。

結果

[フォルダマッピング] ページには、保護対象サイトリソースとリカバリサイトリソースが表示されます。環境内の他のネットワークについても、同じ手順を実行します。

ONTAP toolsでリソースマッピングを設定する

仮想マシンがどちらか一方のホストグループにフェイルオーバーするように構成されるように、保護対象サイトとリカバリサイトのリソースをマッピングする必要があります。

作業を開始する前に

保護対象サイトとリカバリサイトを接続しておく必要があります。



VMware Live Site Recoveryでは、リソースはリソースプール、ESXiホスト、vSphereクラスタのいずれかになります。

手順

1. vCenter Serverにログインし、* Site Recovery > Sites *を選択します。
2. 保護対象サイトを選択し、*[管理]*を選択します。
3. [管理]タブで*>[新規]*を選択して、新しいリソースマッピングを作成します。
4. Create Resource Mapping ウィザードで、次の手順を実行します。
 - a. [Automatically Prepare Mappings for Resource with Matching Names]*を選択し、[次へ]*を選択します。
 - b. 保護対象サイトとリカバリサイトに必要なデータセンターオブジェクトを選択し、*[マッピングの追加]*を選択します。
 - c. マッピングが作成されたら、*[次へ]*を選択します。
 - d. 前に使用したオブジェクトを選択してリバースマッピングを作成し、*[完了]*を選択します。

結果

リソースマッピングページには、保護対象サイトリソースとリカバリサイトリソースが表示されます。環境内の他のネットワークについても、同じ手順を実行します。

ONTAP toolsでプレースホルダデータストアを設定する

保護された仮想マシン (VM) 用にリカバリ サイトの vCenter インベントリ内のスペースを予約するようにプレースホルダ データストアを構成します。プレースホルダ VM は小さく、通常は数百キロバイトしか使用しないため、プレースホルダ データストアに必要な容量は最小限です。

作業を開始する前に

- 保護されたサイトとリカバリ サイトが接続されていることを確認します。
- リソース マッピングが構成されていることを確認します。

手順

1. vCenter Serverにログインし、* Site Recovery > Sites *を選択します。
2. 保護対象サイトを選択し、*[管理]*を選択します。
3. [管理]タブで*>[新規]*を選択して、新しいプレースホルダデータストアを作成します。
4. 適切なデータストアを選択し、* OK *を選択します。



プレースホルダ データストアはローカル ストレージまたはリモート ストレージ上に存在できますが、レプリケーションは必要ありません。

5. 手順3~5を繰り返して、リカバリサイト用のプレースホルダデータストアを設定します。

ONTAP toolsのレイマネージャを使用してSRAを設定する

VMware Live Site RecoveryのArray Managerウィザードを使用してStorage Replication Adapter (SRA) を設定し、VMware Live Site RecoveryとStorage Virtual Machine (SVM) の間のやり取りを有効にすることができます。

作業を開始する前に

- VMware Live Site Recoveryで保護対象サイトとリカバリサイトをペアリングしておく必要があります。
- レイマネージャを設定する前に、オンボードストレージを設定しておく必要があります。
- 保護対象サイトとリカバリサイト間のSnapMirror関係を設定し、レプリケートしておく必要があります。
- マルチテナンシーを有効にするには、SVM管理LIFを有効にしておく必要があります。

SRA では、クラスタレベルの管理と SVM レベルの管理がサポートされます。クラスタレベルでストレージを追加すると、クラスタ内のすべてのSVMを検出して処理を実行できます。SVM レベルでストレージを追加する場合は、特定の SVM だけを管理できます。

手順

1. VMware Live Site Recoveryで、* Array Managers > Add Array Manager *を選択します。
2. 次の情報を入力して、VMware Live Site Recoveryでレイについて説明します。
 - a. [Display Name] フィールドに、レイマネージャを識別する名前を入力します。

- b. 「* SRA Type *」フィールドで、「* ONTAP 向け NetApp Storage Replication Adapter」を選択します。
- c. クラスタまたは SVM への接続情報を入力します。
 - クラスターに接続する場合は、クラスター管理 LIF を入力する必要があります。
 - SVM に直接接続する場合は、SVM 管理 LIF の IP アドレスを入力する必要があります。



アレイマネージャを設定するときは、ONTAP tools for VMware vSphereでストレージシステムのオンボードに使用したのと同じ接続 (IPアドレス) をストレージシステムに使用する必要があります。たとえば、アレイマネージャの設定範囲がSVMである場合は、ONTAP tools for VMware vSphereのストレージをSVMレベルで追加する必要があります。

- d. クラスターに接続する場合は、**SVM 名** フィールドに SVM 名を指定するか、クラスター内のすべての SVM を管理するには空白のままにします。
- e. 検出するボリュームを * Volume include list * フィールドに入力します。

保護対象サイトではソースボリュームを、リカバリサイトではレプリケートされたデスティネーションボリュームを入力できます。

たとえば、ボリュームdst_vol1とSnapMirror関係にあるボリュームsrc_vol1を検出する場合は、保護対象サイトのフィールドでsrc_vol1を指定し、リカバリサイトのフィールドでdst_vol1を指定する必要があります。

- f. * (オプション) * Volume exclude list * フィールドに、検出対象から除外するボリュームを入力します。

保護対象サイトではソースボリュームを、リカバリサイトではレプリケートされたデスティネーションボリュームを入力できます。

たとえば、volume_dst_vol1_とSnapMirror関係にあるvolume_src_vol1_を除外する場合は、保護対象サイトのフィールドで_src_vol1_を指定し、リカバリサイトのフィールドで_dst_vol1_を指定する必要があります。

3. 「* 次へ *」を選択します。
4. アレイが検出され、[Add Array Manager]ウィンドウの下部に表示されていることを確認し、*[Finish]*を選択します。

適切な SVM 管理 IP アドレスとクレデンシャルを使用して、リカバリサイトでも同じ手順を実行します。アレイマネージャの追加ウィザードのアレイペアを有効にする画面で、正しいアレイペアが選択されていること、および有効にする準備ができたことを確認する必要があります。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。